


新型コロナウイルス感染症対策下における子ども虐待防止に資する
助成事業報告書(HP掲載用)

団体名	岐阜キッズな（絆）支援室
事業名	オンラインで行う子どもと保護者の見守り相談事業
活動期間	2020年 6月 1日 ~ 2020年12月 31日

実施内容	<p>生活困窮世帯の子ども達120人に無償の学習支援室を毎週土曜日に実施して9年になる。その中で、学習支援に留まらない、子ども達の悩みや家庭の問題など、多くの相談事に寄り添ってきた。今年度はコロナウイルス感染拡大により、毎週子ども達と会っていたことができなくなり、家庭で子どもたちが過ごす時間が増え、SNSによる相談が大きな役割を果たすようになった。24時間いつでもどこでも相談・対応できる意義は大きい。家に居場所のない子ども達は、夜間に自殺念慮や家出をすることが多く、知らない電話相談に電話するよりも、日頃から関係性ができている当団体に連絡してくる場合の方が多い。貧困世帯の子ども達の家庭学習の推進と困り事対応ということで、タブレットを貸出し、Wifiの環境を整えることによって、子どもからの相談事業を行った。スカイプやラインやメールや電話等、各種SNSを使うことによって、子どもからの家庭の悩みや虐待の事実、保護者からの生活や家計に関する悩みや相談が多く寄せられ、その都度必要な支援を迅速に行ってきた。</p>
成果	<p>頻回に訪問や連絡を取ることで、家庭内の問題が明らかになることが多かった。子どもだけでなく、保護者自身が様々な困難をもっており、誰にも相談できないと、一人で悩み、育児放棄や家庭内暴力に繋がっていく。特に近年、外国籍保護者が増えており、日本語が不十分で、文字の読み書きも十分でなく周囲から孤立しているシングルマザーが多く、そうした保護者の中には感情的になって、子どもを殴る蹴るなどの暴力が日常的に行われている家庭もある。子どもや保護者と直接話し、声を聴くことが、家庭内の悩みを軽減することになる。子どもへの学習支援を強化する中で、子どもと保護者とも顔の見えるオンラインのシステムを作ることで、学習支援と併せた虐待防止と早期発見につながった。</p>
写真	
リンク	<p>https://gkidssien.globa.com https://www.facebook.com/gifu.kidsna/</p>